

令和6年度 秩父地域森林活用等創出支援事業 事業概要書

**事業名: God's Garden Project****団体名: 株式会社 16H25M****事業の目的・内容**

秩父市にある私有林を間伐し、その木材を原料に、オリジナルの生地を開発します。  
手つかずの私有林に対して適切な間伐と植林を行うことで、森林の健全な循環管理を推進するとともに、林産物の高付加価値化による地域資源の有効活用を目指しています。  
また、こうした森林整備は、温暖化防止だけでなく、土砂災害の抑制、水資源の涵養、生態系保全など、多面的な公益的機能の回復にもつながります。  
さらに使用する木材を地域内に限定することで、地域経済の循環促進や秩父市における林業の活性化にも寄与することを目的としています。

**今までの活動状況**

秩父市内で間伐された木材をチップ化・パルプ化し、マニラ麻を使用せずに紙糸を生成。  
その紙糸を用いて、オリジナルのテキスタイルの開発に成功しました。  
織り上がった生地には、タテ糸に GOTS 認証を取得したオーガニックコットンを使用しており、原材料の段階からトレーサビリティとサステナビリティが確保された繊維素材が完成しました。







## これからの活動・行事

現在は、開発したオリジナルテキスタイルをもとに、衣類やインテリア等の繊維製品のブランド化を進めています。

同時に、所有する私有林の間伐および植林にも継続的に取り組み、持続可能な森林利用のモデルを構築することで、全国の山村地域が直面する課題への一つの解決策を提示したいと考えています。

全国各地でも間伐材を活用した生地づくりの事例は増えていますが、原材料の調達から製品化までのトレーサビリティを確保することが、今後ますます重要になると考えています。

私たちの取り組みでは、木材の出どころが明確で、追跡可能な仕組みによって、環境価値を証明できる繊維素材の開発を進めています。

今後はこの取り組みをモデルケースとして、間伐材の新たな用途開発と林業の価値再構築を全国へ展開し、サーキュラーエコノミー（循環型経済）の考え方を取り入れた国産繊維づくりの新たな可能性を切り拓いていきたいと考えています。